



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 乾 汽船 株式会社

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 新悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 乾 隆志

TEL 03-3548-3270

四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,905	22.5	△853	—	△925	—	△365	—
25年3月期第2四半期	6,453	△7.0	△791	—	△1,028	—	△872	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 615百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △986百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△12.42	—
25年3月期第2四半期	△29.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	31,103	19,382	62.0	655.41
25年3月期	28,777	18,768	64.8	634.48

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,275百万円 25年3月期 18,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成26年3月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	27.6	△1,400	—	△1,600	—	200	—	6.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正については、本日(平成25年11月6日)別途開示する「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	29,429,335 株	25年3月期	29,429,335 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	19,460 株	25年3月期	19,460 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	29,409,875 株	25年3月期2Q	29,409,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の世界経済は、米国において住宅市場の緩やかな回復が持続するなど堅調に推移しており、欧州でも経済の減速に歯止めがかかりました。中国では7月以降に社会資本整備に関する政策が相次ぎ発表されたことなどから、持ち直しの動きが見られました。日本では、設備投資の持ち直しが見られるなど緩やかに回復致しました。世界経済全体の動きとしては、先進国が緩やかに回復する一方で新興国の経済は力強さを欠き、国際通貨基金による世界経済見通しでは2013年の成長率が下方修正されるなど不安定さが残りました。

不定期船外航海運業を取り巻く環境としましては、期間の前半は世界的な船腹過剰の影響を受け低調な市況が続きましたが、8月頃から大型船の市況に顕著な回復が見られ、ケープサイズばら積み船の用船料では、一時3年振りの高値が記録されました。

当社が主力とするハンディサイズばら積み船では、新造船の竣工数を上回る老齢船の解撤処分があり、世界的な船腹量は微減となりました。船腹需給がわずかに引き締まった結果、ハンディサイズばら積み船の運賃・用船市況には、前年度後半を底値とした緩やかな回復が見られました。しかしながら昨年まで続いた荷動きの成長率を大きく上回る船舶の大量竣工の影響は大きく、運賃・用船料は、依然として採算を割り込む水準に留まりました。

その中であって当社の業績は、効率的な配船を引き続き追求すると共に、減速航海による燃料費コストの削減を積み重ねましたが、市況の低迷による収益の減少をカバーするには至らず、当連結累計期間は赤字となりました。

なお、9月に竣工後18年を経た老齢船1隻を売却処分し、特別利益484百万円を計上致しました。また、おなじく9月には37,000DWT型の新鋭船が竣工し、「保有船の代替計画」が予定通り進捗致しております。

今期の具体的な数字といたしましては、当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）の連結売上高は7,905百万円（前年同期比1,451百万円の増加）、営業損失は853百万円（前年同期比62百万円の拡大）、経常損失は925百万円（前年同期比102百万円の縮小）、四半期純損失は365百万円（前年同期比507百万円の縮小）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は31,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,326百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の減少2,087百万円、海運業未収金の増加499百万円、新造船2隻の建造などにとまなう有形固定資産の増加2,973百万円、投資有価証券の増加1,015百万円等によるものです。

負債は11,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,711百万円の増加となりました。これは主に海運業未払金の増加336百万円、短期借入金の増加177百万円、長期借入金の増加1,075百万円等によるものです。

純資産は19,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ614百万円増加しました。これは主に利益剰余金の減少364百万円、その他有価証券評価差額金の増加797百万円等によるものです。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,283百万円となり、前年同四半期末比2,641百万円の減少（前連結会計年度末に比べ2,087百万円の減少）となりました。

各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュフロー）

営業活動により減少した資金は219百万円で、これは主に7,896百万円の営業収入、7,575百万円の高船賃費用の支出ならびに266百万円の人件費の支出等によるものです。

（投資活動によるキャッシュフロー）

投資活動により減少した資金は3,080百万円で、これは主に新造船建造資金を主とした有形固定資産の取得による支出3,767百万円、有形固定資産（船舶および不動産）の売却による収入567百万円ならびに投資有価証券の売却による収入223百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュフロー）

財務活動により増加した資金は1,043百万円で、これは長期借入れによる収入1,540百万円、長期借入金の返済による支出496百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績につきましては上述の通り赤字決算となりましたが、第3四半期以降も引き続き厳しい市況が継続することを想定しております。ただし、船腹需給の引き締まりを背景として緩やかに回復した足下の用船市況が継続することを想定し、第3四半期以降の営業、経常損失の幅は縮小すると予想しております。為替レートについては、1ドル95円を業績予想の前提としております。

また、老齢船等の固定資産を売却処分し、約1,200百万円の特別利益を計上することを想定しております。

以上の前提で、当期の連結業績につきましては、以下の通り予想しております。

売上高16,000百万円、営業損失1,400百万円、経常損失1,600百万円、当期純利益200百万円

配当金については、配当性向を通期の利益の20%を目安として、資産の売却損益ならびに投資計画を加味して株主に配分することを基本方針としております。具体的な配当金額については、業績の推移を見つつ決定させていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,370,726	3,283,469
海運業未収金	809,372	1,308,595
貯蔵品	987,940	918,205
繰延及び前払費用	290,672	338,502
未収還付法人税等	3,911	—
その他	668,249	597,621
流動資産合計	8,130,873	6,446,394
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	13,129,662	14,494,830
その他（純額）	1,350,282	2,958,491
有形固定資産合計	14,479,945	17,453,321
無形固定資産		
投資その他の資産	99,907	86,387
投資有価証券	5,000,423	6,015,929
長期預金	690,973	718,021
その他	375,315	383,467
投資その他の資産合計	6,066,712	7,117,418
固定資産合計	20,646,565	24,657,127
資産合計	28,777,438	31,103,522
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,000,877	1,337,527
短期借入金	1,012,718	1,190,413
未払法人税等	—	4,352
賞与引当金	23,452	24,258
その他	474,931	368,025
流動負債合計	2,511,980	2,924,578
固定負債		
長期借入金	6,217,703	7,293,013
退職給付引当金	27,596	—
特別修繕引当金	256,929	228,519
その他	994,861	1,274,588
固定負債合計	7,497,091	8,796,121
負債合計	10,009,072	11,720,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	12,133,736	11,768,921
自己株式	△6,320	△6,320
株主資本合計	17,577,414	17,212,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,422	924,513
繰延ヘッジ損益	△136,385	△41,675
為替換算調整勘定	1,091,564	1,180,019
その他の包括利益累計額合計	1,082,601	2,062,858
新株予約権	108,350	107,365
純資産合計	18,768,366	19,382,822
負債純資産合計	28,777,438	31,103,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	6,453,360	7,905,080
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	6,762,053	8,286,329
売上総損失(△)	△308,693	△381,248
一般管理費	482,625	472,212
営業損失(△)	△791,318	△853,461
営業外収益		
受取利息	10,990	34,425
受取配当金	28,887	26,082
保険解約返戻金	35,991	—
船舶燃料受渡精算金	61,792	82,367
その他	12,875	17,185
営業外収益合計	150,538	160,061
営業外費用		
支払利息	54,561	116,148
有価証券運用損	17,682	58,186
為替差損	207,059	—
船舶燃料受渡精算金	106,729	55,118
その他	1,363	2,405
営業外費用合計	387,395	231,858
経常損失(△)	△1,028,176	△925,258
特別利益		
投資有価証券売却益	—	26,543
固定資産売却益	60,412	490,903
その他	—	985
特別利益合計	60,412	518,432
特別損失		
投資有価証券評価損	220,670	—
ゴルフ会員権評価損	875	—
固定資産除却損	84	2,883
特別損失合計	221,630	2,883
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,189,393	△409,710
法人税、住民税及び事業税	2,569	1,900
法人税等調整額	△319,395	△46,382
法人税等合計	△316,826	△44,482
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△872,566	△365,227
四半期純損失(△)	△872,566	△365,227

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△872,566	△365,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92,899	797,091
繰延ヘッジ損益	△19,496	94,710
為替換算調整勘定	△1,829	88,455
その他の包括利益合計	△114,226	980,256
四半期包括利益	△986,792	615,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△986,792	615,029

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	6,300,432	7,896,672
海運業費用の支出	△5,571,369	△7,575,668
人件費の支出	△305,214	△266,447
その他の営業支出	△171,636	△228,688
小計	252,211	△174,132
利息及び配当金の受取額	47,474	36,851
利息の支払額	△55,405	△90,639
法人税等の還付額	259,002	13,099
法人税等の支払額	△9,548	△5,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	493,735	△219,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△78,920	—
有形固定資産の取得による支出	△2,299,062	△3,767,967
有形固定資産の売却による収入	104,000	567,348
無形固定資産の取得による支出	△95,793	—
投資有価証券の取得による支出	—	△99,962
投資有価証券の売却による収入	—	223,616
投資有価証券の償還による収入	315,180	—
その他	2,936	△3,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,051,658	△3,080,826
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000,000	—
長期借入れによる収入	—	1,540,000
長期借入金の返済による支出	△298,881	△496,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,701,118	1,043,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△213,770	169,827
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,575	△2,087,257
現金及び現金同等物の期首残高	5,995,288	5,370,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,924,713	3,283,469

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、外航海運業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

資産（船舶）の譲渡

当社は、平成25年11月1日に以下の船舶1隻を売却する契約を締結致しました。

船名	契約締結日	売却予定月	売却価格	平成25年9月末簿価
KEN UN	平成25年11月1日	平成25年12月～平成26年2月	US\$6,250千ドル	112百万円